

連載シリーズ vol. 4

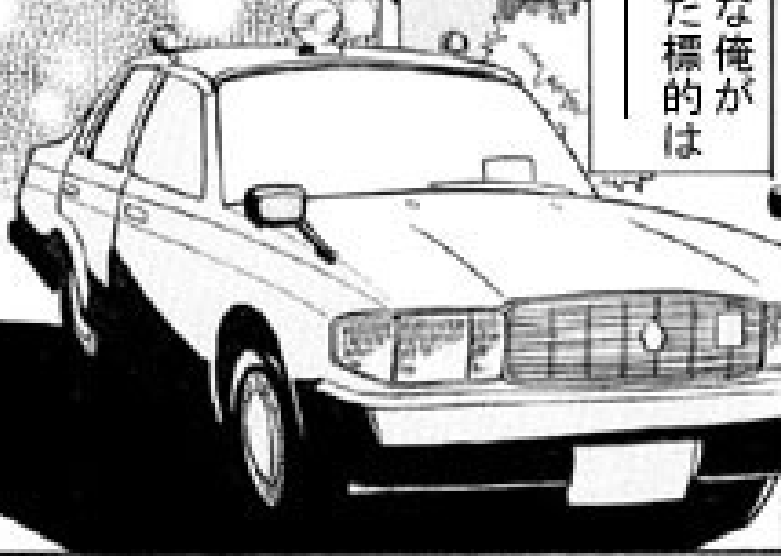
黒蝶倶楽部



烏賊松

俺はOOI
コードネームは
フェイクフェイス

そんな俺が
選んだ標的は

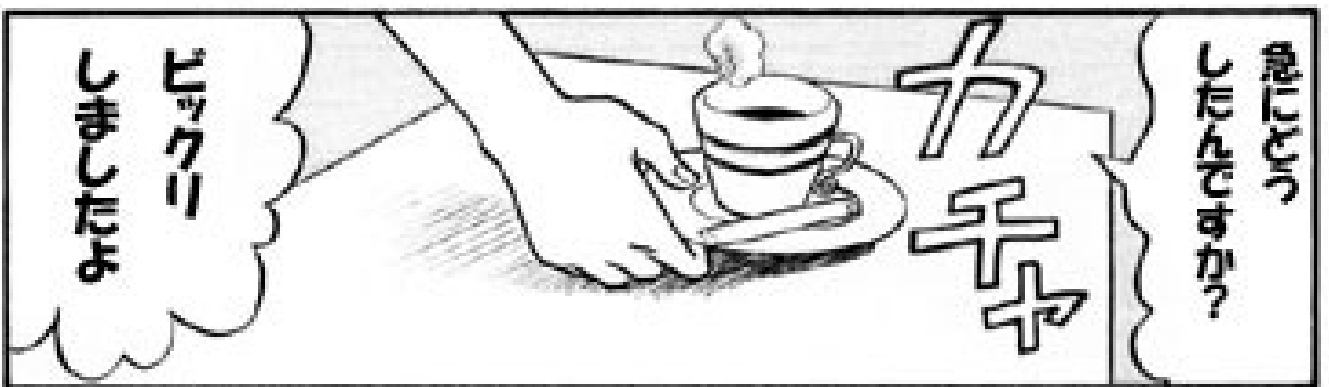
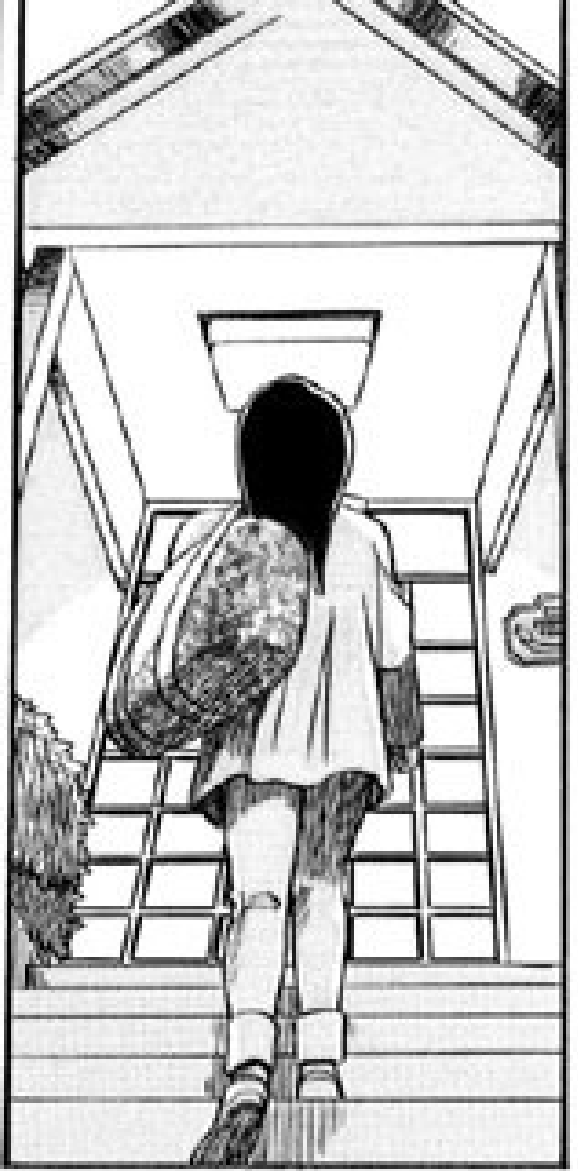


変幻自在の
俺の素顔を
知る者は
誰もいない…



ン○ンだー!







いや...
ちよっとお前に
話したい事が
あってな

電話で話そうと
思ってたんだが
俺も仕事帰りで
近くまで来たから
寄ってみたんだ

私に...
話ですか?



「カラーボックス」

あの衣装の
事だよ



は...
裸エプロンの
事ですか?

ア...
かなりきわどい
服装じゃないかと
おもっ



んんんんんんんん



そりー...
あの裸エプロンの狙いは
まさにそりーにある...



一見すると
開き直ってクールに
着こなしている
ようだが

時折垣間見える
羞恥心が
男をくすぐるのだ



この世に
裸エプロンが嫌いな
男なんかいない!
いるワケがない!
いてもらっては
困る!!

はぁ...



なのに
カレーラオスの女が
ミリオンヒットに
なっていないのは
何故か?

分かるか
ソーン!?



ハイッ!!

あたしの
歌唱力が
足りないからです!!



ちが——う!!

あーっ...

お前に
足りないのは

更なる
露出だ!!



と、まあ
そんな訳で

今日はお前に
個人レッスンを
してやるように
思っ
て
わさわさ
やって来たんだ



え〜
そんな〜

いいわ
おとな
おとな



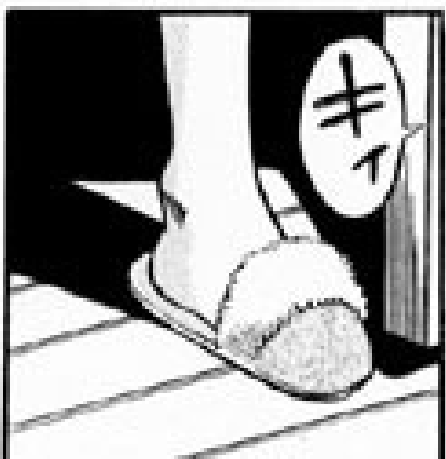
「さあさあ
言っ
てないで
わっ
着替えて来い!!

は…はいっ!!



あ…
あの…

これで
いいん
ですか
…?





アイドルは
見られてナンボの
世界だ！

自分の殻に
どっしりついては
トップスターへの
道は開かれない
んだぞ！！

で……でも……



大丈夫だ！

俺を信じて
ついてくるんだ！！



く……く……ん

そ……
胸なんです
けど……

あ……



このエロンを着た
だけで
条件反動的に
セクシーな気持ちに
なれるように

この身体に
覚え込ませてやる



ほら……
もっと背中を
のけぞらせ
るんだ！

んんん

あ……



ここを大きく開いて
セクシーさを
アピールするんだ

あ…

ダメ…



どうだ？

視線を感じて
身体が熱くなって
こないか？

……



こういうのも
ウケるかも
しれんな

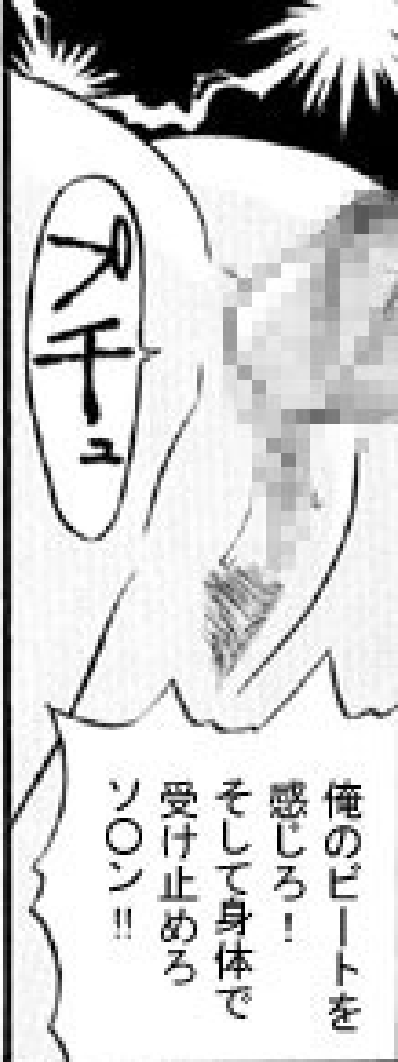
ニヤニヤ



もっとエロロンを
小さくして
露出度を上げるのも
ひとつの手だが…



身体で
リズムを
覚える!!



俺のビートを
感じる!
そして身体で
受け止める
ソクン!!



身体の奥から
叩き出すビートは
観客の心に
届くはずだ!



そして
不死鳥のように
燃え上がり
.....



ああんんんっ

生まれ
かわれ
ソクン
!!

